

イスラエルにとっての雨の聖書的重要性

ONR FOR ISRAEL

恵比寿マンディ

2021年1月4日

《イスラエルの水源》

ガリラヤ湖 / キネレテ湖 (ダビデの豎琴の形)
～ ヨルダン川から死海へ

水源であるガリラヤ湖に水が補充されるには 雨が必要

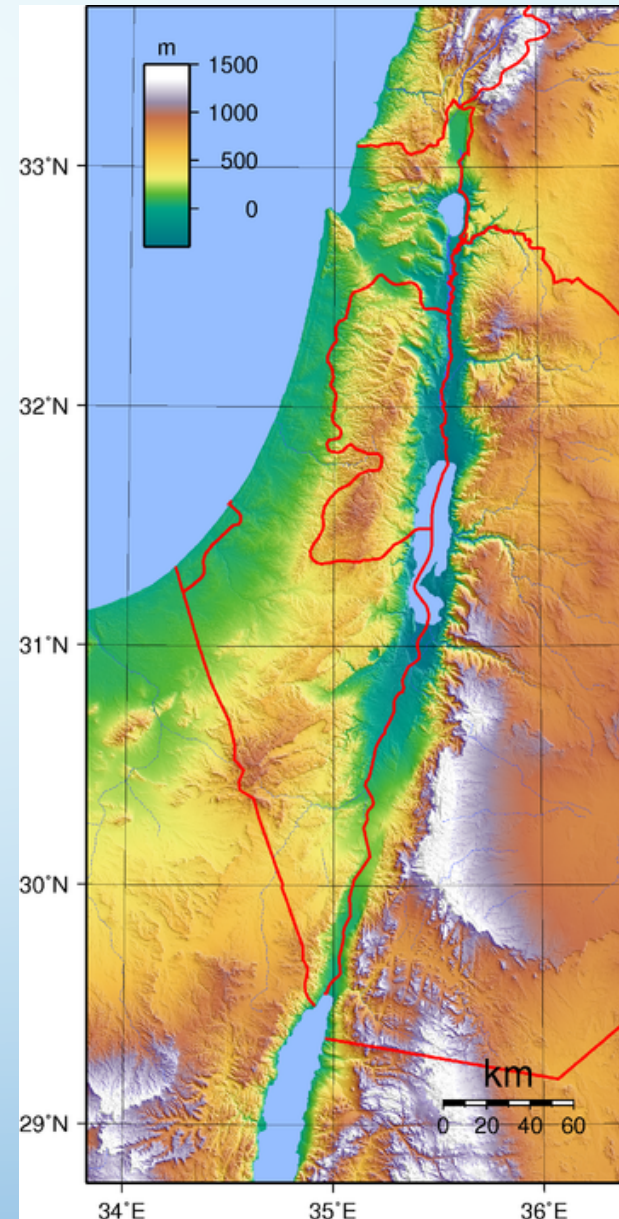
天からの雨に 完全に 依存する国

雨を降らせることがお出来になる方に 完全に拠り頼む
しかない地

《対比》文明の発祥地は 命を支える水資源が豊かな流域

①エジプト ナイル川

②メソポタミア ユーフラテス川



《旧約聖書 雨は 恵みのしるし、日照りは 戒めのしるし》

① "なぜなら、あなたが入って行って所有しようとしている地は、あなたがたが出て来たエジプトの地のようではないからである。エジプトであなたは、野菜畑できるように、自分で種を蒔き、自分の力で水をやっていた。

しかし、あなたがたが渡って行って所有しようとしている地は、山と谷の地であり、天からの雨で潤っている。

そこは、あなたの神、主が求められる地で、年の初めから年の終わりまで、あなたの神、主が絶えずその上に目をとどめておられる地である。

もしわたしが今日あなたがたに命じる命令、すなわち、あなたがたの神、主を愛し、心を尽くし、いのちを尽くして仕えよという命令に、あなたがたが確かに聞き従うなら、

わたしは時にかなって、あなたがたの地に雨、初めの雨と後の雨をもたらし、あなたは穀物と新しいぶどう酒と油を集めることができる。

また、わたしはあなたの家畜のため野に草を与える。あなたは食べて満ち足りる。

気をつけなさい。あなたがたの心が惑わされ横道に外れて、ほかの神々に仕え、それを拝むことのないように。

そうでないと、主の怒りがあなたがたに向かって燃え上がり、主が天を閉ざし、雨は降らず、地はその産物を出さなくなる。こうしてあなたがたは、主が与えようとしているその良い地から、たちまち滅び去ることになる。"

申命記 11章10～17節

② "主はその恵みの倉、天を開き、時にかなって雨をあなたの地に与え、あなたのすべての手のわざを祝福される。それで、あなたは多くの国々に貸すが、借りることはない。"

申命記 28章12節

《神の方法》

何も考えなくても 自然に手に入るもの 当たり前になっていること、もの

= その供給を止めるのは 人間が神に目を向けるようにさせる神の方法

雨を降らせることがお出来になる方を 見上げる必要がある乾燥した地

神の御思い : 民に頼ってほしい、民と関係性を持ちたい

《神のあわれみ》

“しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。天におられるあなたがたの父の子どもになるためです。父はご自分の太陽を悪人にも善人にも昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからです。”

マタイの福音書 5章44～45節

正しい者にも正しくない者にも 雨を降らせてくださる神

反抗したり 偶像礼拝に陥ったイスラエルの民 <= 神の守りと救出

罪人 <= 身代わりとして死んでくださったイエス様

恵みのしるしとしての雨 + 神のあわれみ

《祈りのリクエスト = イスラエルの救い》

—イスラエルの人々が 目を天に向け 助けを神に求めるようになるように。

—生ける水の源であるメシア イエシュアを通して 神と 素晴らしい関係を持てるようになることを知るように。